

令和5年度 本牧原地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性		
<p>地域アセスメントを通じて把握した「地域課題」について情報収集や共有に努め、住民間の繋がりを支えあいについて可視化し、課題解決に向けて5職種が連携をはかり多角的な視点で取り組みを行っていく。</p>		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>住民主体の社会貢献活動の場を増やしていく。高齢化に伴う問題については、包括と連携を取りながら対応し、理解を得られるよう支援していく。地域施設との状況把握に努め、関わりを少しずつ増やしていく。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>エンディングノート・終活について啓発事業を区や区内包括と共催で取り組む。地域向けリーフレットの改定を行う。より身近な成年後見制度の啓発に取り組む。広く多世代に向けて終活についての広報を行う終活フェアを開催する。地域で始まる移動サロンなどで特殊詐欺の啓発を行う。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>ケアプラザの役割を地域住民の方に更に理解していただき、相談しやすい環境を作っていく。地域ケア会議を開催し、各職種で課題の共有をしながら社会資源を作り上げていく。介護をしている人が孤立することなく、安心して地域に住み続けられるようにサロンを開催する。ケアマネジャーがインフォーマルサービスをプランに取り入れ、地域の方と連携が図れるよう、情報発信と啓発を続けていく。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>地域の中の支えあい活動を把握し、その繋がりが途絶えないよう働きかけると同時に情報が必要な人に届くよう周知を進めていく。また住民間の見守りについて主体的に活動ができるよう支援していく。</p>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>本牧原エリアでは、運動機能低下者、口腔機能低下者の割合が多く、要介護認定者が増加しているため、地域住民に広く体力測定を提供し、フレイルの早期発見に務めると同時に、住民が自ら健康づくりの必要性を理解し、介護予防のための地域の資源として介護保険外サービスの普及、健康づくりサポーターの支援に取り組んでいく。</p>
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント		

令和5年度本牧原地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>(1) 法人で定められている「苦情解決規則」に基づいて、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、利用される方からのご意見及びご要望、苦情などに対応するとともに再発防止に努めます。</p> <p>(2) 法人では公正・中立の立場を重んじた、斡旋、調整を行う第三者委員を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みます。</p> <p>(3) 館内に「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでも何かあればご意見等を受け付けるようにしています。</p> <p>(4) 事業ごとにお客様アンケートをいただき、改善、発展につなげます。</p> <p>(5) 包括支援センターにおいては、新規のケースを地域の居宅介護事業所の際、新規依頼表を作成し、公平になるよう努めています。</p>	<p>(1) 介護サービス提供中などに事故に至らなくても気が付いた点について「ヒヤリハット報告書」に記録してミーティングや会議の場で報告し、原因の究明と対応を検討し職場内で注意喚起や徹底をするとともに介護技術向上の研修を通して、事故の未然防止に努めます。</p> <p>(2) 所内会議等において、他の事業所などでの事故の事例や緊急対応マニュアルを確認するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理意識の向上に努めます。</p> <p>(3) 毎月、衛生委員会でリスクマネジメントについての報告、検討をし、産業医からのアドバイスを受けています。</p> <p>(4) 地域ケアプラザ内全職員に対し、年1回の「個人情報保護修」と共に、法人で作成した「プライバシーの尊厳と保護に関するマニュアル」による人権研修を実施し職員の意識を高めます。</p> <p>(5) 法人のサービス向上課がまとめている法人全体の中の情報漏えいの事故があった際には職員会議、デスタッフ会議等で共有します。</p>
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>(1) 介護予防プランが滞ることのない体制を維持します。また、ご本人が、自ら主体的に介護予防、健康維持に取り組めるよう、個別性のあるプランを作成し、要介護状態とならないように努めます。</p> <p>(2) 地域ケアプラザ自主事業や、地域でのサロン、社会資源(インフォーマルなサービスも含む)も取り入れた計画を作成します。また、社会資源(インフォーマルサービスを含む)を計画に取り込めるようにケアマネジャーにも周知していきます。</p> <p>(3) 介護予防プラン、介護予防ケアマネジメント委託先の居宅介護支援事業所をはじめ、関係事業所、地域との連携を密にしていき、包括ケアシステムの構築を念頭におきながら住み慣れた地域に生活し続けられるよう働きかけていきます。</p> <p>(4) 横浜市訪問型短期予防サービスを積極的に利用し、介護保険に繋がりにくい方へも支援していきます。</p> <p>(5) 生活支援コーディネーターや地域活動交流コーディネーターと連携し、集いの場など介護予防が行える拠点を創出していくと共にフレイルについて地域住民へ啓発していきます。</p> <p>(6) 健康づくりサポーターさんの活動を支援すると共に、新たなメンバーも創出し地域住民が主体となって健康づくりができるように支援していきます。</p>	<p>○自立支援、認知症支援、医療連携○</p> <p>(1) 在宅生活されているご本人とご家族の意向を尊重して、ケアプランを作成します。</p> <p>(2) ご本人の生活歴を踏まえ、住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように介護保険以外の町内の交流会や 地域ケアプラザにおける自主事業などを紹介していきます。</p> <p>(3) 退院後も在宅生活が安心して送れるように 家族、医療機関、地域包括支援センター、在宅サービス事業者などと連携を図り、随時プランの見直しをしていきます。</p> <p>(4) 認知症になっても地域の見守りや理解により、在宅生活が継続できるように日頃から主治医、民生委員、近隣の方々で行う情報交換、勉強会、研修会に参加して自己研鑽に努めるとともに地域とのネットワークづくりを推進します。</p> <p>(5) 地域ケアプラザ内の居宅介護支援事業所であるメリットを活かして困りごとや課題を 地域の社会資源の発掘や活用に役立てるため 生活支援コーディネーターに伝え 連携をとっていきましょう努めます。</p> <p>(6) 感染防止対策を行いながら介護保険制度における制度の説明や具体的なサービスの利用等について、お客様への丁寧な説明を心掛けます。</p> <p>(7) 終末期を迎えるお客様に対して医療、包括との連携、即時性を考え行っていくよう努めます。</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>
職員体制	非常勤兼務 3名	常勤専従 3名 常勤兼務 1名 非常勤兼務 1名
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	<p>【通所介護】</p> <p>1. お客様の声が、反映できる個人レクリエーションとなるように、種類を増やしていきます。</p> <p>2. お客様が参加して楽しんで頂ける、行事やイベントを増やしていきます。</p> <p>3. 新型コロナ感染症拡大防止に努めます。</p> <p>【第一号通所事業】</p> <p>運動器機能向上訓練や機能訓練、お客様の生活環境に即した訓練等、個別性の高いプログラムを充実させます</p>	<p>【認知症対応型通所介護】</p> <p>1. 季節ごとの花や植木の寄せ植え、盆栽など、自然と触れ合う機会を感じて頂きます。また、園芸レクリエーションも継続して実施します。</p> <p>2. 毎月のカレンダー制作や季節の壁画制作など、制作活動を通じて、季節感あふれる癒しの空間をお客様と一緒に作り出していきます。</p> <p>3. 引き続き、新型コロナ感染症拡大防止に努めます。</p>	
実施体制	<p>【実施日数】 週7日</p> <p>【提供時間】 9:30～16:35</p> <p>【定員】</p> <p>〈通所介護・第一号通所介護〉34名</p>	<p>【実施日数】 週7日</p> <p>【提供時間】 9:30～16:35</p> <p>【定員】</p> <p>〈認知症対応型通所介護〉12名</p>	
	<p>〈通所介護〉</p> <p>● 負担割合</p> <p>【1割負担】</p> <p>(要介護1) 703円</p> <p>(要介護2) 829円</p> <p>(要介護3) 961円</p> <p>(要介護4) 1,092円</p> <p>(要介護5) 1,225円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 7円</p> <p>● 入浴加算(Ⅰ) 43円</p> <p>● 中重度者ケア体制加算 49円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 60円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅱ) 22円</p> <p>● 科学的介護推進体制加算 43円</p> <p>【2割負担】</p> <p>(要介護1) 1,405円</p> <p>(要介護2) 1,658円</p> <p>(要介護3) 1,921円</p> <p>(要介護4) 2,183円</p> <p>(要介護5) 2,449円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 13円</p> <p>● 入浴加算(Ⅰ) 86円</p> <p>● 中重度者ケア体制加算 97円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 120円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅱ) 43円</p> <p>● 科学的介護推進体制加算 86円</p>	<p>〈認知症対応型通所介護〉</p> <p>● 負担割合</p> <p>【1割負担】</p> <p>(要介護1) 1,080円</p> <p>(要介護2) 1,197円</p> <p>(要介護3) 1,315円</p> <p>(要介護4) 1,432円</p> <p>(要介護5) 1,550円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅱ 7円</p> <p>● 入浴加算(Ⅰ) 44円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅰ) 30円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅱ) 22円</p> <p>● 科学的介護推進体制加算 44円</p> <p>【2割負担】</p> <p>(要介護1) 2,159円</p> <p>(要介護2) 2,394円</p> <p>(要介護3) 2,629円</p> <p>(要介護4) 2,864円</p> <p>(要介護5) 3,099円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 13円</p> <p>● 入浴加算(Ⅰ) 87円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅰ) 59円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅱ) 44円</p> <p>● 科学的介護推進体制加算 87円</p>	
	<p>【3割負担】</p> <p>(要介護1) 2,107円</p> <p>(要介護2) 2,486円</p> <p>(要介護3) 2,882円</p> <p>(要介護4) 3,274円</p> <p>(要介護5) 3,673円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 20円</p> <p>● 入浴加算(Ⅰ) 129円</p> <p>● 中重度者ケア体制加算 145円</p> <p>※ 食費負担 750円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅰ)イ 180円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅱ) 65円</p> <p>● 科学的介護推進体制加算 129円</p> <p>※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。</p> <p>※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の10に相当する単位数の料金が加算されます。</p> <p>※ 介護職員等ベースアップ等支援加算として利用単位数の1000分の11に相当する単位数の料金が加算されます。</p>	<p>【3割負担】</p> <p>(要介護1) 3,238円</p> <p>(要介護2) 3,591円</p> <p>(要介護3) 3,943円</p> <p>(要介護4) 4,296円</p> <p>(要介護5) 4,648円</p> <p>● サービス提供体制強化加算Ⅲ 20円</p> <p>● 入浴加算(Ⅰ) 131円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅰ) 88円</p> <p>● 個別機能訓練(Ⅱ) 66円</p> <p>● 科学的介護推進体制加算 131円</p> <p>※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の1000分の104に相当する単位数の料金が加算されます。</p> <p>※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の24に相当する単位数の料金が加算されます。</p> <p>※ 介護職員等ベースアップ等支援加算として利用単位数の1000分の11に相当する単位数の料金が加算されます。</p>	

	<p><第1号通所介護> ● 負担割合 (1割負担) 要支援1(週1回程度) 1,793円 要支援2(週1回程度) 1,793円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 26円 要支援2(週2回程度) 3,675円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 52円 ● 運動器機能向上加算 242円 ● 科学的介護推進体制加算 43円 (2割負担) 要支援1(週1回程度) 3,585円 要支援2(週1回程度) 3,585円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 52円 要支援2(週2回程度) 7,350円 ● サービス提供体制強化加算Ⅲ 103円 ● 運動器機能向上加算 483円 ● 科学的介護推進体制加算 86円 ※ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)として利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)として利用単位数の1000分の10に相当する単位数の料金が加算されます。 ※ 介護職員等ベースアップ等支援加算として利用単位数の1000分の11に相当する単位数の料金が加算されます。</p>		
	<p>【その他料金】 昼食代 750円</p>	<p>【その他料金】 昼食代 750円</p>	
<p>職員体制</p>	<p><通所介護> 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ26名、 運転手11名、看護職員兼機能訓練指導員7名、調理員6名 <第1号通所介護> 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ26名、 運転手10名 看護職員兼機能訓練指導員7名、調理員6名</p>	<p><認知症対応型通所介護> 管理者1名、生活相談員4名、デイスタッフ16名、 運転手11名、看護職員兼機能訓練指導員7名、調理員6名</p>	
<p>契約者数等</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>

令和5年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,416,384		13,416,384		13,416,384	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	5,412,000		5,412,000		5,412,000	
収入合計	18,828,384	0	18,828,384	0	18,828,384	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,419,384	0	12,419,384	0	12,419,384	
本俸	3,730,500		3,730,500		3,730,500	
法定福利費	931,842		931,842		931,842	
手当計	7,590,166		7,590,166		7,590,166	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付支出	166,876		166,876		166,876	
その他			0		0	
事務費	1,300,000	0	1,300,000	0	1,300,000	
旅費	3,500		3,500		3,500	
消耗品費	250,000		250,000		250,000	
会議賄い費	5,000		5,000		5,000	
印刷製本費	144,000		144,000		144,000	
通信費	319,814		319,814		319,814	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	20,377		20,377		20,377	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	3,125		3,125		3,125	
振込手数料			0		0	
リース料	189,054		189,054		189,054	
手数料	36,780		36,780		36,780	
地域協力費			0		0	
その他	328,350		328,350		328,350	
事業費	2,200,000	0	2,200,000	0	2,200,000	
運営協議会経費			0		0	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
その他			0		0	
管理費	7,926,000	0	7,926,000	0	7,926,000	
光熱水費	5,700,000		5,700,000		5,700,000	
清掃費	1,910,888		1,910,888		1,910,888	
機械警備費			0		0	
設備保全費	315,112	0	315,112	0	315,112	
空調衛生設備保守	315,112		315,112		315,112	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	395,000		395,000		395,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	△ 5,412,000		△ 5,412,000		△ 5,412,000	
支出合計	18,828,384	0	18,828,384	0	18,828,384	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	2,200,000	0	2,200,000	0	2,200,000	
自主事業 収支	△ 2,200,000	0	△ 2,200,000	0	△ 2,200,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度「本牧原地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,465,313		23,465,313		23,465,313	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,868,500		5,868,500		5,868,500	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			1,420,000		1,420,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	1,420,000		1,420,000		1,420,000	
収入合計	30,907,813	0	30,907,813	0	30,907,813	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,576,813	0	27,576,813	0	27,576,813	
本俸	15,823,500		15,823,500		15,823,500	
法定福利費	3,838,066		3,838,066		3,838,066	
手当計	7,281,121		7,281,121		7,281,121	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付支出	634,126		634,126		634,126	
その他			0		0	
事務費	528,720	0	528,720	0	528,720	
旅費	18,000		18,000		18,000	
消耗品費	100,000		100,000		100,000	
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	60,000		60,000		60,000	
通信費	68,606		68,606		68,606	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	24,667		24,667		24,667	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費			0		0	
振込手数料			0		0	
リース料	220,667		220,667		220,667	
手数料	36,780		36,780		36,780	
地域協力費			0		0	
その他			0		0	
事業費	2,011,280	0	2,011,280	0	2,011,280	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	938,000		938,000		938,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	289,280		289,280		289,280	
その他			0		0	
管理費	2,085,000	0	2,085,000	0	2,085,000	
光熱水費	1,530,000		1,530,000		1,530,000	
清掃費	471,237		471,237		471,237	
機械警備費			0		0	
設備保全費	83,763	0	83,763	0	83,763	
空調衛生設備保守	83,763		83,763		83,763	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	△ 1,420,000		△ 1,420,000		△ 1,420,000	
支出合計	30,907,813	0	30,907,813	0	30,907,813	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	1,381,280	0	1,381,280	0	1,381,280	
自主事業 収支	△ 1,381,280	0	△ 1,381,280	0	△ 1,381,280	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 本牧原地域ケアプラザ

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	14,230		14,230	37,744		37,744	112,182		112,182	46,360		46,360
	その他	0	0	0	0	0	0	792	0	792	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0	792		792			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	収入合計(A)	14,230	0	14,230	37,744	0	37,744	112,974	0	112,974	46,360	0	46,360
支出	人件費	1,363		1,363	24,610		24,610	89,829		89,829	36,251		36,251
	事務費	8,341		8,341	2,310		2,310	7,304		7,304	2,613		2,613
	事業費	13		13	82		82	16,845		16,845	5,548		5,548
	管理費			0			0	2,343		2,343	827		827
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	支出合計(B)	9,717	0	9,717	27,002	0	27,002	116,321	0	116,321	45,239	0	45,239
	収支 (A) - (B)	4,513	0	4,513	10,742	0	10,742	-3,347	0	-3,347	1,121	0	1,121

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ペタンクルー	平成16年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	継続的に会を行うことで、転倒骨折を予防するとともに仲間作りを支援する。お体に不安がある方もレクリエーションを楽しむ。	5: 地域	1	毎月第1・3月曜 13:30～14:30 開催。 はまちゃん体操やペタンクなどを楽しむ。 毎年、区内で実施されるペタンク大会にチームで参加する。「寿和の会」より改名講師 米山 結花		
2	シニアリトミック	平成29年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	運動不足を解消し持続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。	1: 高齢者	5	毎月第4月曜 13:45～14:45 開催。 音楽に合わせて体で表現する。 講師 松平 光代		
3	子育てサロン	平成15年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て世代の親の情報交換や仲間作りの場を提供する。地域の身近な方に話を聞いてもらったり、相談することで育児不安を解消する。	4: 子ども・青少年	5	毎月第3火曜 10:00～12:00まで開催。 第4南部保健活動推進委員、第4南部主任児童委員、本牧根岸保健活動推進員が持ち回りで担当。ボランティアによる読み聞かせや子育てパートナーによる育児相談などあり。		
4	ダルクローズリトミック	令和5年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	転倒防止、認知症予防に効果があるのかを確認、測定する。身体の様々な部位の違う動きをすることで脳を活性化させる。	1: 高齢者	5	毎月3回 13:30～14:30 9月末まで実施 音楽に合わせて感じたまま体で表現する。 講師 松平 光代		
5	脳イキイキ教室	平成18年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	読み書き計算や、定期的な外出で認知症予防をはかる。歓談コーナーを通して仲間作りを支援する。サポーターとしてボランティアを育成するとともに、卒業生をボランティア活動や次の事業に繋げる。	1: 高齢者	5	毎週木曜 10:00～12:00 開催 (9月・3月を除く)公文教材を使用し、サポーターが丁寧に聞きながら読み書き計算を行う。毎日行う課題もある。		
6	健脳体操教室	平成16年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	認知症予防にもなる運動を取り入れ、持続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。	1: 高齢者	5	毎月第2・4木曜日 13:0～15:00 開催 脳に刺激を与えながら日常生活に必要な筋力を鍛える。講師 貝原 美佐子 (YMCA)		
7	サロン潮風	令和元年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民(特に高齢者)の閉じこもり防止し、仲間づくりを支援する。	1: 高齢者	5	毎月第1木曜日 13:00～14:00 ボランティアによる脳トレや歌		
8	シルバー体操	平成12年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	運動不足を解消し持続的に事業を行うことで仲間作りの場を提供する。普段行わないことをすることで、様々な機能への刺激を与える。	1: 高齢者	5	毎月第1・3金曜 9:30～11:30 時間内2部制 開催体操やリズムに合わせての運動、フォークダンスとバラエティーな内容。 講師 高橋 侑子		
9	ピアノで歌おう	令和4年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ボランティアによるピアノ伴奏による歌唱季節の歌を皆で楽しむ。フレイル予防の一助とする。	5: 地域	6	毎月第3金曜日(5月のぞく)13時30分		
10	ぶらり本牧	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍でも本牧の街を歩いて回ることを通じて運動不足解消・健康づくりの一助とする。	5: 地域	6	令和5年4月22日(土)～5月31日(水)		
11	貸館説明会	令和元年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	施設利用について理解する	5: 地域	6	令和5年6月4日(日)午前・午後		
12	Chill Café	令和5年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	人と人とのつながりや交流の場とする。ボランティアをのにかにとっては無理なく楽しく活動する。	5: 地域	6, 7	令和5年5月19日(金)13:00～15:00 年6回		
13	立寄処「ひだまり」	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	新型コロナ感染拡大の影響で、交流する機会が縮小され、閉じこもり気味の高齢者が増え、体力気力の低下が心配されることから、少人数で気軽に交流、また傾聴ボランティアの活動の場とする。	5: 地域	6	毎月第四月曜日 11:00～12:00		
14	HOMMOKUBASE げんきCLUB	令和2年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	利便性のよいところに新たな集いの場を設置。介護保険サービス適用外の高齢者の受け皿となる活動のひとつとする。	5: 地域	6	座位で行う介護予防体操。 毎月第4火曜日 13:000～14:00開催。		
15	はらっぱ うたごえ CLUB	令和2年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	新型コロナ感染拡大により交流する機会が縮小されている中、「3つの密」を避けながら自宅でも個人でも可能な歌を歌うことで、ストレス発散と健康維持に取り組むことを目的とする。	5: 地域	6	地域のFM放送局を活用し、歌番組を流す。		
16	原っぱタイム	令和3年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	ケアプラザについて広く周知すると同時にそれぞれの職種や役割を知ってもらう。商店街の中にあるコミュニティスペースを利用することで気軽に親しみを覚えてもらい、身近な存在に感じてもらう。	5: 地域	6	毎月第四木曜日 10:30～12:00 街カフェ 楽(本牧1丁目)		
17	マリンハイツ スマイルサロン	令和4年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	錦町にあるマリンハイツは築40年超の集合住宅ではあるが、住民間の交流は少ない。また高齢化率も40%を越え、寄せられる相談も深刻なものが多いことから住民間の交流と顔が見える関係づくり、ケアプラザの周知も合わせて行う。	1: 高齢者	5	開催場所は団地内にあるラーメン店、講義についてはドラッグストアの薬剤師の協力で開催している。毎月第4火曜日 13:30～14:30		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	エンディングノートを書くために	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	今年度、中区の社福士会6ケアプラザ共催で行う終活シリーズ講座の一回目。まずはエンディングノートについて学んでもらう。	1:高齢者	5			
19	介護者の集い「グリーンリーフ」	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症等の高齢者を介護している家族の集いの場。介護者が介護のため自宅にこもることなく、気分転換や介護負担を軽減するためのサロン。	5:地域		介護者が日頃の思いなどを語り合い、意見交換をする。 毎月第2金曜日 13:00～15:00		
20	見守りキーホルダー登録会	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	中なかいいネ！見守りキーホルダーの普及活動に向けて、ケアプラザで登録会の実施を行う。	1:高齢者		令和5年7月16日(日) 10時～12時 出張登録会とは別に地域ケアプラザで開催		
21	フレイル予防セミナー	平成25年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	椅子に座ってストレッチや筋トレ、コグニサイズを行うことで外出の機会を提供するとともに、オーラルフレイルや栄養講座を行い、フレイルについて総合的に学ぶ。	1:高齢者	5	椅子に座ってストレッチ+筋トレ+コグニサイズを実施し体力維持に務める。オーラルフレイルやバランスの良い食事について学習する。 毎月第2月曜日14:00～開催		
22	健康づくりサポーター支援	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	一昨年度養成したサポーターの方々をより健康づくりサポーターとして活動していくために体力測定のみならずフレイルについても少し深く学んでいただき、地域に還元できることを目的とする。	5:地域	1	地域で体力測定会を開催する。フレイルについても学び、なぜ体力測定をして継続的にフォローしていかないといけないのかを学ぶ。 毎月第3月曜日10:00～		